

2016 11/22

No.2031

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



横浜市西区みなとみらいのグランモール公園に9日夕、2年ぶりにイルミネーションが登場、ケヤキ並木に施された約20万個の電飾が夜をロマンチックに演出した。点灯期間は来年1月29日まで。



## contents

視点・点描	3
熱血監督の快挙祝う号外	
国際	4
「世界はどこに向かうのか」 トランプ大統領の本当の意味 陥ってはいけない楽観主義	
経済	8
若者は何にお金を使っているのか 所得増と将来不安の払拭を	
くらし2016	10
肝臓病に多い血小板減少	
広告珍談	12
広告はたのしい⑳ シャウガクボー!	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

### 事務局だより

#### ◇12月定例講演会

#### シンポジウム・交流会

2016年12月8日(木)

横浜ベイシェラトンホテル&  
タワーズ

#### ▽講演会

午前11時～午後0時半、4階「清流Ⅱ」

講師は共同通信社政治部長・  
小淵敏郎氏、同経済部長・東  
隆行氏、同外信部長・沢井俊  
光氏、神奈川新聞社取締役論  
説主幹・林義亮氏

演題は「2017年の動向を読む」

#### ▽交流会

午後0時40分～2時、4階「清流」

# 視点 点描



## 熱血監督の快挙祝う号外

世界が驚いた米大統領選の開票結果が出た9日夕、神奈川新聞はトランプ氏の勝利を伝える号外を発行した。号外といっても県内各地で配布したわけではなく、紙面サイズのコピーを社屋の壁に張るいわゆる「張り出し号外」だ。

ポーツ関連が多く、リオ五輪では夜中に整理部2人、運動部1人が待機して4回発行した。それに続く機会もやはりスポーツの話題で、女子サッカーのノジマステラ神奈川相模原が創立5年目にして、プレナスなでしこリーグ1部昇格を決めた歓喜を県内に伝えた。選手の健闘はもちろ



んだが、菅野将晃監督（56）抜きに、この快挙はあり得なかった。

大震災が発生した。

同監督は日本リーグ古河電工（現J2千葉）で通算210試合に出場。これはラモス瑠偉さんと並ぶ歴代9位の大記録だ。1995年の現役引退後、指導者に転じてからは、京都、浦和などで高校生以下も含めて監督、コーチを切れ目なく続ける。当時J2の湘南の監督を退任した翌年の2009年から、福島を拠点とする東京電力マリーゼで女子の指導を始め、3年目を迎える11年3月に東日本

活動休止になったチーム存続のために水面下で活動し、その中で知り合った家電量販ノジマの野島廣司社長と意気投合。同年秋には全く新しいチームの発足が決まった。選手は社員として雇用され、専用グラウンドも寮もある。理想の環境を実現した野島社長の思いに応え、熱いハートと明るい人柄で選手を導き、県3部からのシンデレラストーリーを完成させた。

同監督は横浜市旭区の県立旭高校OB。運動部記者時代に同校の取材を通してご縁ができ、25年近いお付き合いになる。ステラの話も構想段階から聞かせていただいただけに、個人的な感慨もひとしお。節目を祝う号外発行に担当部署として関わられて光栄だった。

（神奈川新聞社整理部長

岡部 伸康）

# シャウガクボー!

何年かまえ、親しい医学者石井

則久さんや弁護士の中村裕一さん

夫妻と、客船ばしふいっく・ビー

なす号で、小笠原の父島へ行つた。

ピカピカに晴れ渡つた昼どき、

地元料理の食堂へ入つた。ビーな

す号のシツプス・ドクター、西丸

與一さんにすすめられた店。

出されてきたのは白っぽい刺し

身、初めてクチにする味。しつぽ

りとして、おいしかった。亭主に

聞くと、海ガメという。とたんに

あのやさしい目元を思いだして、

ハシを置いた。

小笠原ではむかしから、海ガメ

を食べていたらしい。図をどうぞ。

「小笠原嶋特産 緑蟪龜罐詰」と

ある。イラストは頭をもたげて、

歩く海ガメ。説明を略記するところ

うだ。

とも。ボクは、まさしくシャウガクボーであるぞよ。

罐詰には「やまとに」とルビ。

大和煮はすこし甘味がある、牛肉

などの煮物。缶詰を連想する。明

治期に掲載されたこの広告のこ

ろ、缶詰は高価な食べ物だったに

ちがいない。

店をでて、海岸に向かった。多

くの人だから、大きな海ガメがい

た。彼女はうしろ脚で、砂浜に穴

をほつた。そして20コほどの、まっ

白いタマゴを産みおとした。目か

らナミダがあふれていた。穴を埋

めもどした彼女は、海に向かつて

歩いていった。だれも話さない。あまりにも厳肅な情景。情景とい

う2文字は、このためにあるのか

と思えるほど。みな、静かに見守つ

ていた。

かつて宮武外骨という、偉才の

人がいた。

本名は亀四郎。カメは外に骨が

あり、肉はその内側にある。じぶ

んもそうあるべきだと改名した。

1867(慶応3)年、讃岐(香

川県)の生まれ。反骨のジャーナ

リストであり、さまざまに刊行し

た出版物は、つねに政府批判と風

刺にみたされ、再三、筆過にあつた。

1926(大正15)年、東京大

学文学部に「明治新聞雑誌文庫」

を創設。ほう大な資料収集に基づ

いた著作は、新聞史料としてもつ

とも重要と位置づけられる。55(昭

和30)年、大学構内で没した。

(美術エッセイスト 茅ヶ崎市在住)

(図)「小笠原嶋特産 緑蟪龜罐詰」

の広告。明治初期の掲載

